

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬高校魅力づくり事業
事業主体 (連絡先)	白馬村 教育委員会事務局教育課 0261-72-5000
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,494,800円 (うち支援金: 1,995,000円)

### 事業内容

平成27年6月19日に県、県教育委員会、白馬村、小谷村の4者で白馬高校に関する連携協定の調印式が行われ、県立高校では初、全国でも市町村長が参加するのは初めての試みとなるコミュニティースクールを設立することが確認された。

全国的に少子化による生徒数が減少し、学校の存続が問題となっているが、新しい信州型の教育モデルとしてテレビ番組を通じて紹介することで、高校の存続について課題を抱える地域の課題解決の一助となる。

### (活動写真)



【放送番組キャプチャ】

### 【目標・ねらい】

- ①白馬高校の存続
- ②地域支援の周知
- ③
- ④

### 事業効果

番組で白馬高校の取り組みについて紹介することで、白馬高校志願者数増加を目指すとともに、高校再編基準を曲げて存続することとなった白馬高校に対し、広く県民にご理解をいただく中で、普通科、国際観光科ともに各40名の定数を概ね満たすことが出来た。

また、来年度の志願者数も本年度並の高水準となっている。

### ※自己評価【C】

#### 【理由】

昨年度実施事業と比較して、番組内容の変化は見られたが、事業自体のブラッシュアップを図ることが出来なかったため。

### 今後の取り組み

今後の事業展開としては、引き続き白馬高校の支援を実施しつつ、高校の存続維持につなげていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある